

2016年4月24日

福音書からのメッセージ

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

(ヨハネによる福音書 13 章 34 節)

イエス様は言われます。「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい」。互いに愛し合うこと。これが新しい掟なのだ。そう聞いて戸惑いを覚える方もおられるかもしれません。

愛し合うという言葉小さい子どものために言いかえるならば、仲良くしましょうと言えるかもしれません。もう少し大きい子どもだと、お互いを大切にしましょうという言い方も出来ると思います。

でも考えてみますと、そのようなことは、わたしたちにとっては当たり前のことです。キリスト教であろうとなかろうと、他人を大切にする、優しくすること、お互いに愛し合うことは、何も目新しいことではありません。では何が「新しい掟」なのでしょう。

イエス様はただ単に「互いに愛し合いなさい」と言われたわけではありません。「わたしがあなたがたを愛したように」と言われています。イエス様の愛が、すべての源なのです。

ではイエス様の愛とは何でしょうか。イエス様がわたしたちに示された最も大きな愛、それは十字架でした。イエス様の十字架、それはわたしたちを愛するが故になされた出来事でした。ご自分が十字架につけられることで、わたしたち一人ひとりが



滅びから救われるのです。

「愛とは自己を失うこと。

愛するとは他者の内に住むこと」と書いた人がいました。本当の愛とは、自分の思いや欲求などすべて捨て去ることです。イエス様は、何もかも捨てて、十字架に向かわれました。それが、イエス様が示されたわたしたちに対する愛なのです。そのように、あなたたちも愛し合うものとなりなさい。イエス様がすべてを捨ててわたしたちの内に住んでくださったように、あなたたちも自分を捨て、すべてをイエス様に委ねるようにと言われているのです

わたしたちは自分の力だけでは、互いに愛し合うことなどできない者です。イエス様はそのことをよくご存じです。だからこそわたしたちをこれでもか、というほど愛し、わたしたちの内に住み、わたしたちを愛の交わりの中に生かしてくださるので

その愛の中に、すべてを委ねましょう。自分の思いを捨て、欲望を脱ぎ去り、イエス様を心の中に受け入れて歩むのです。そしてイエス様がなさったように、お互いを愛し、また愛されていく者となりましょう。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>